

みずほCustomer Desk Report 2018/06/04 号(As of 2018/06/01)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.94 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.78	1.1693	127.19	1.3288	0.7563
SYD-NY High	109.73	1.1718	128.12	1.3360	0.7573
SYD-NY Low	108.73	1.1617	127.15	1.3254	0.7514
NY 5:00 PM	109.50	1.1661	127.74	1.3348	0.7569
NY DOW	24,635.21	219.37	日本2年債	-0.1400	1.00bp
NASDAQ	7,554.33	112.22	日本10年債	0.0400	1.00bp
S&P	2,734.62	29.35	米国2年債	2.4696	3.60bp
日経平均	22,171.35	▲ 30.47	米国5年債	2.7458	4.71bp
TOPIX	1,749.17	1.72	米国10年債	2.9013	4.18bp
シカゴ日経先物	22,370.00	270.00	独10年債	0.3820	4.45bp
ロンドンFT	7,701.77	23.57	英10年債	1.2800	5.25bp
DAX	12,724.27	119.38	豪10年債	2.6895	3.75bp
ハンセン指数	30,492.91	24.35	USDJPY 1M Vol	7.13	▲0.47%
上海総合	3,075.14	▲ 20.34	USDJPY 3M Vol	7.36	▲0.41%
NY金	1,299.30	▲5.40	USDJPY 6M Vol	7.89	▲0.19%
WTI	65.81	▲ 1.23	USDJPY 1M 25RR	-0.89	Yen Call Over
CRB指数	201.71	▲ 1.13	EURJPY 3M Vol	8.89	▲0.81%
ドルインデックス	94.19	0.21	EURJPY 6M Vol	9.12	▲0.61%

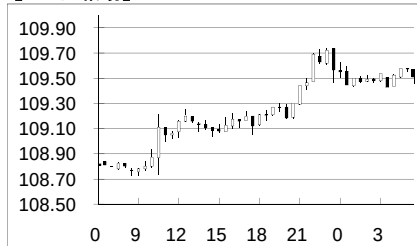
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月1日	16:55	独 マークait製造業PMI・確報	5月 56.9	56.8
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	5月 223K	190k
	21:30	米 失業率	5月 3.80%	3.9%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	5月 0.3%/2.7%	0.2%/2.6%
	21:55	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演		「賃金の伸びは依然として低い」
	22:45	米 マークait製造業PMI・確報	5月 56.4	56.6
	23:00	米 ISM製造業景況指数	5月 58.7	58.2

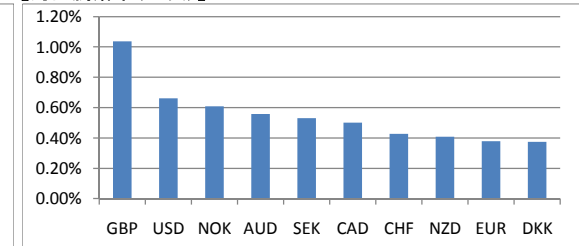
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月4日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	4月 0.3%	0.0%
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	4月 0.2%/2.4%	0.1%/2.1%
	20:30	欧 ノボトニー・オーストリア中銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 製造業受注(前月比)	4月 -0.5%	1.6%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	4月 -	-1.7%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	4月 -	0.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.20 - 109.70	1.1500 - 1.1750	125.50 - 129.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外市場でのドル/円相場は円安進行。金曜日は5月の米雇用統計が公表され、非農業部門雇用者数は前月比+22万3000人の増加となり、事前予想を上回る堅調な結果となった。これを受け、米株式市場は上昇、米国債相場は下落で反応するリスクオンを示す結果となり、外国為替市場もドル買い優勢の展開。ドル円相場も109円台半ばまで円安が進行する結果となった。一方で、週末の主要7カ国(G7)財務省・中央銀行総裁会議で、米国の保護主義政策に対する懸念が示されると共に、中国が米中通商協議の合意を無効にすると警告すると報じられていることもあり、本日は現在の水準で方向感の少ない展開になるものと予想する。

東京	オセアニア時間に安値108.73をつけたドル円相場は108.78レベルで東京時間オープン。公示仲値の発表時間にかけて108.98まで上昇するも、日銀が国債買い入れオペで残存期間5-10年のオファー金額を前回より200億円減額し4,300億円としたことが伝わり108.74まで下落。但し、日中安値を更新するには至らず下値は限定的とみられると反転上昇。米10年債利回りが2.87%台まで回復する中、109円台前半のストップを巻き込んだともみられ、109.21まで上伸した。その後、午後に入ると特段材料が無い中で東京時間高値109.25をつける局面があったものの、海外時間に米5月雇用統計の発表を控えて基本的には動意を欠き、109円台前半で推移。結局109.13レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.13レベルでオープン。米朝首脳会談実現に向けた調整が進む中、リスク回避姿勢が遠のき、堅調に推移。NY勢参入後は米5月雇用統計の発表を控え、トランプ米大統領が「雇用統計を見るのを楽しみにしている」とツイート。好調な米雇用環境への期待感が浮上し、109.44まで買われ、同レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1678レベルでオープン。伊大統領がコンチ氏を次期首相に任命し、五つ星運動と同盟による連立政権が正式に発足することが確定となったことで、政治空白によりやく終止符が打たれ、ユーロ買い優勢。スペインで、ラホイ政権の不信任決議が可決(賛成180票、反対169票)し、社会労働党のサンチェス書記長が首相に就任すると、一段と買いが入り、1.1718まで堅調に推移。一服後はトランプ米大統領の雇用統計に関するツイートを受けてドルが強含み、1.1671に低下。1.1673レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は109.44レベルでNYオープン。米5月雇用統計は非農業部門雇用者数変化、平均時給が共に市場予想を上回り、失業率も3.8%まで低下したことから発表直後は109.68まで上昇。全体的に強い内容だったことから、米景気は引き続き堅調との見方が強まり、米金利と米株の上昇と共にドル円は高値109.73まで強含む。その後発表された米5月ISM非製造業景況指数も市場予想を上回る内容だったものの、この日よりEU、カナダ、メキシコに対して米国が鉄鋼7%増税を導入するため、貿易摩擦の激化が懸念され、109.46まで反落。午後は様子見ムードが強まり109.50近辺で方向感なく推移し、109.50レベルでクロス。ユーロドルは1.1674レベルでNYオープン。朝方は米5月雇用統計の結果を受けドル全面高の展開となり1.1649まで下落するが、この水準では買い意欲も強く、ユーロ円上昇にも連れ高となり1.1688まで反発。その後「イタリアのポピュリスト政権の一部政治家がEU離脱に向けて動いている」との噂が警戒されてイタリア国債利回り急上昇、ユーロ売りとなり1.1617まで急落。しかし、イタリアのドリア新経済相が「ユーロ圏からの離脱を望んでいる政党はイタリアにはない」と強調したことから1.1681まで戻す。午後は1.1660近辺で小動きに終始し1.1661レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 濱・坂本